

国立女性教育会館を愉しもう！〈第1回〉

国立女性教育会館は森の中

ようこそ、国立女性教育会館へ！2021年度のエッセイは、男女共同参画推進拠点の国立女性教育会館からお届けします。

池袋から東武東上線に乗って、車窓の景色を楽しみながら電車で揺られること約1時間、武蔵嵐山駅に到着します。ここが国立女性教育会館の最寄り駅です。毎日通勤するには少し長すぎる通勤時間ではありますが、いいこともたくさんあります。

青く澄み渡った冬の朝などは、真っ白に雪をかぶった美しい富士山をはるかに望むことができます。電車が、霞が関駅（埼玉県霞が関）手前の入間川を渡るとき、左前方に神々しい雄大な姿が突然現れて、乗客を驚かせてくれます。また、都心とは反対方向に進む電車なので、車内はいつも空いていて、荷物を横において、資料を広げても誰にもとがめられません。電車の中がオフィスに様変わりします。

そして、何より嬉しいことは、都心からこれほど遠く離れると、爽やかな空気の漂うのどかな景色、緑豊かな静かな環境に包まれていることです。このような環境の中で仕事ができる幸せを日々かみしめています。



桜越しに見る宿泊棟



心字池に架かる橋から本館を望む

国立女性教育会館は男女共同参画を推進するナショナルセンターで、英文名称の National Women's Education Center の頭文字をとって NWEC（ヌエック）と呼ばれています。今月のエッセイでは NWEC の魅力を紹介させていただこうと思いますが、その前に必要な事前知識として、世界の男女格差ランキングとは何か、そして、男女共同参画社会とはどのような社会かについてご説明します。

世界の男女格差ランキングとは、男女格差をジェンダーギャップ指数（GGI）で表し、ギャップの少ない国から1番、2番と順位をつけるというもので、世界経済フォーラムが毎年発表しているランキングのことです。政治・経済・教育・健康の4つの分野においてそれぞれ順位をつけて、それらを平均して総合順位を算出します。例えば、経済分野の管理職数の男女格差については、日本の順位は131位です。政治分野の国会議員の男女格差は135位。4つの分野を平均した総合順位は153カ国中121位（2019年12月発表）です。この日本の順位はG7ではもちろん最下位。OECD加盟国でも下から数えて2番目です。



正門付近からみた本館

男女共同参画社会とは、あらゆる分野で男女の持てる能力を十分発揮して活躍できる社会のことです。1999年に成立した「男女共同参画社会基本法」の前文には、「男女共同参画社会の実現は21世紀の我が国の最重要課題と位置づけている」と明記されています。この法律のことは、中学校の公民の教科書や高校の教科書にも載っています。

NWECは、このような男女格差を解消し、男女共同参画社会を実現するために男女平等を推進する独立行政法人です。1977年に当時の文部省により設立されて以来、男女共同参画社会の形成に資する研修や調査研究、情報の収集・発信などを行っています。

2020年からのコロナ禍では、多くの職場でテレワークが日常化しました。そのような状況に押されてでしょうか、最近よく話題に上るのがワーケーションです。ワーケーションとは、仕事（ワーク）と休暇（バケーション）を組み合わせた造語で、職場とは異なる場所で働きながら休暇を取得するというものです。バケーションというと観光地のイメージが強いですが、バケーションだけでなくエデュケーションや福利厚生などと組み合わせてワーケーションを検討する企業が増えてきているとのことです。



都幾川の桜並木・菜の花畑と会館

そこで、ワーケーションの拠点の候補にNWECも加えていただきたいと思います。テレワークをしながらNWECの豊富な施設を活用してエデュケーションやエンターテインメントを組み合わせるワーケーションを企画してはいかがでしょうか。前述しましたように、NWECは自然豊かな静かな環境にあります。鳥のさえずりを聴きながら仕事をするという贅沢な時間を提供できると思います。仕事だけでなく、NWEC構内の体育館、テニスコート、音楽室、

調理室、茶室などを活用して、スポーツや音楽会、料理教室、茶会などさまざまな企画を立てることができます。ぜひご検討ください。

リレーエッセイの第1回目はNWECの所在地や施設についてご紹介しました。2回目からは、NWECの具体的な活動や研究成果についてご紹介します。お楽しみに。

(内海 房子
 /独立行政法人 国立女性教育会館 理事長)



春の日本庭園



会館全景

URL : <https://www.nwec.jp/>